

芸閣

～図書館だより～

第9号
2020年1月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

冬 本 番

今年の冬は、あまり寒くないのかと思っていましたが、冬休みが明けてから寒くなってきましたね。1月20日は「大寒」でした。1月6日が「小寒」で寒の入り。「小寒」から「節分(2月3日)」にかけてが「寒中」で、一年で寒さの最も厳しい頃です。

うす壁につんづと寒が入にけり 小林一茶

ところで、「寒」のつく言葉がたくさんあります。

寒雲(かんうん)・・・寒々とした雲。また、冬の雲

寒花(かんか)・・・雪を冬の花に見立てていう語

寒暁(かんぎょう)・・・冬の寒い明けがた

寒月(かんげつ)・・・冬の夜空に皎皎(こうこう)とさえて見える月

寒風(かんぷう)・・・寒中の、風がなく波がおだやかな日和

など、美しい表現です。また、

寒泳(かんえい)・・・寒中に行う水泳

寒稽古(かんげいこ)・・・寒の時期に、武道や芸事の修練を行うこと

などは、何か引き締まった印象がありますね。他にも「寒」のつく言葉を探してみてください。

12月25日(水)

図書館講座

「おすすめの本を
紹介しよう！」



(裏面に新着図書の紹介を載せています)

12月25日、図書委員と図書局の合同で、図書館講座が行われました。催しは、本の紹介とPOP(ポップ)作成です。講座は図書局2年生 宮井君の本の紹介で始まりました。宮井君は12月15日に行われた「ビブリオバトル和歌山大会決勝大会」で『@ベイビーメール』(山田悠介著)を紹介して優勝し、全国大会への切符を手に入れています。その後には、数人の班に分かれて本の紹介をし、続くPOP作成で、その魅力をはがきサイズの紙に詰め込みました。いろんなジャンルの本、読んだことのない本と触れ合い、それぞれ気づきがあったと思います。読書の楽しみ方は人それぞれですが、本との出会いは誰にでも。あなたはどんな本と出会いたいですか？

(1年 茂野)



新着図書の紹介



日本の小説

『ひきこもりの弟だった』

葦舟ナツ 著 KADOKAWA

『しろいろの街の、その骨の体温の』

村田沙耶香 著 朝日新聞出版

『風神雷神 Juppiter, Aeolus』上・下

原田マハ 著 PHP研究所

『昔話法廷』Season 1～4

NHK Eテレ「昔話法廷」制作班 編 金の星社

『祝祭と予感』恩田陸 著 幻冬舎

外国文学

『風をつかまえた少年 14歳だったぼくはたったひとりで風力発電をつくった』

ウィリアム・カムクワンバ ほか 著 文藝春秋

その他いろいろ……

『若い人のための10冊の本』 小林康夫 筑摩書房

『おしゃべりな糖 第三の生命暗号、糖鎖のはなし』

笠井献一 著 岩波書店

『俳句を楽しむ』 名越康文 監修 サンクチュアリ出版

『無私の日本人』 磯田道史 著 文藝春秋

『私は私のままで生きることにした』

キム・スヒョン 著 ワニブックス

芸術

『永遠 君と僕との間に』 ZARD 著 幻冬舎

『ものがたり日本音楽史』 徳丸吉彦 著 岩波書店

社会科学

『ボランティアをやりたい』 さだまさし ほか 編

『はじめての憲法』 篠田英朗 著 筑摩書房

今月は新着図書が少ないのでクイズを載せました！

《日本文学書き出しクイズ》

Q.これは
どの作品でしょう？

「えたいの知れない不吉な塊が
私の心を始終圧えつけていた。」

A 『蜜柑』 芥川龍之介

B 『桜桃』 太宰治

C 『檸檬』 梶井基次郎



イラスト：わんバグ

お話し まちがい探し 銀河鉄道の夜



ジョバンニは気がついたら、カンパネラといっしょに鉄道に乗っていて、窓の外には星空が広がっていました。下の2枚のイラストには5つのまちがいがあります。いくつ見つけれられるかな？

